

別冊

小項目別評価運用基準表【抜粋】

令和7年6月

【別冊】小項目別評価運用基準表 目次-1

注) 各区分の 項目は使用頻度の高いと思われるものを示す。

事業分類	構造物分類	構造形式、工法分類	区分番号	備考
1河川	1.1河川堤防		1010	別紙-1
	1.2河川護岸		1020	別紙-1
	1.3堰・水門		1030	別紙-1
	1.4床止め・床固め		1040	別紙-1
	1.5樋門・樋管		1050	別紙-1
	1.6水路トンネル	1.6.1山岳トンネル工法	1061	5011参照
		1.6.2シールド工法	1062	5012参照
		1.6.3推進工法	1063	5022参照
		1.6.4開削工法	1064	5013参照
	1.7伏せ越し		1070	別紙-1
	1.8揚排水機場		1080	別紙-1
	1.9河川浚渫		1090	別紙-1
	1.10河川維持管理	(補強、改築は含まない)	1100	別紙-1
2海岸	2.1海岸堤防		2010	別紙-2
	2.2海岸護岸		2020	別紙-2
	2.3突堤、離岸堤		2030	別紙-2
	2.4養浜		2040	別紙-2
3砂防、地すべり、急傾斜	3.1砂防堰堤		3010	別紙-3
	3.2渓流保全工		3020	別紙-3
	3.3斜面・地すべり対策	(地下水排除工、抑止杭工含む)	3030	別紙-3
	3.4急傾斜地崩壊対策	4.1.1法面工事等	3040	別紙-3
		4.1.2擁壁工	3040	別紙-3
4ダム	4.1ダム (転流トンネルは、5道路5.1トンネルで評価する)	4.1.1重力式ダム	ダムについては、原則、総合評価を適用する	
		4.1.2アーチ式ダム		
		4.1.3 ロックフィルダム工事		
		4.1.4アースダム工事		
		4.1.5表面遮水壁ダム		
		4.1.6複合ダム工事		
		4.1.7ダム維持管理 (補強、改築は含まない)		
		4.1.8その他		
5道路	5.1トンネル	5.1.1山岳トンネル工法	5011	別紙-4
		5.1.2シールド工法	5012	別紙-4
		5.1.3開削工法	5013	別紙-4
		5.1.4沈埋工法	5014	別紙-4
	5.2共同溝	5.2.1シールド工法	5021	5012参照
		5.2.2推進工法	5022	別紙-4
		5.2.3開削工法	5023	5013参照
	5.3橋梁上部工	5.3.1 RC橋	5031	別紙-4
		5.3.2 PC橋	5032	別紙-4
		5.3.3鋼橋	5033	別紙-4
		5.3.4床版工(鋼橋)	5034	別紙-4
	5.4橋梁下部工	5.4.1RC橋台・橋脚	5041	別紙-4
		5.4.2鋼製橋台・橋脚	5042	別紙-4
		5.4.3合成構造橋台・橋脚	5043	別紙-4
	5.5舗装	5.5.1セメントコンクリート舗装	5051	別紙-4
		5.5.2アスファルト舗装	5052	別紙-4
		5.5.3ブロック舗装	5053	別紙-4

【別冊】小項目別評価運用基準表 目次-2

注) 各区分の 項目は使用頻度の高いと思われるものを示す。

事業分類	構造物分類	構造形式、工法分類	区分番号	備考
5道路	5.6道路付属施設		5060	別紙-4
	5.7切土工		5070	別紙-4
	5.8盛土工		5080	別紙-4
	5.9斜面安定・法面工		5090	別紙-4
	5.10カルバート工		5100	別紙-4
	5.11擁壁工		5110	別紙-4
	5.12排水工		5120	別紙-4
	5.13電線共同溝・CAB		5130	別紙-4
	5.14情報ボックス		5140	別紙-4
	5.16道路維持管理	(補強、改築は含まない)	5160	別紙-4
6港湾、漁港	6.1航路泊地	6.1.1浚渫揚土工	6010	別紙-5
	6.2防波堤	6.2.1ケーソン式 6.2.2ブロック式	6020	別紙-5
	6.3離岸堤、突堤	6.2防波堤工事に準ずる	6030	6020参照
	6.4護岸	6.5岸壁工事(杭式栈橋を除く)に準ずる。	6040	6050参照
	6.5岸壁	6.5.1岸壁(杭式栈橋を除く) 6.5.2岸壁(杭式栈橋)	6050	別紙-5
	6.6その他	基礎工事、地盤改良工事、ブロック類製作工事、ケーソン製作工事	6060	別紙-5
7空港	7.1基本施設舗装	7.1.1空港土工 7.1.2空港舗装工	7010	別紙-6
	7.2用地造成	7.1.1空港土工	7020	7010参照
	7.3その他	7.3.1排水工	7030	別紙-6
8公園・緑地	8.1基盤施設		8010	別紙-7
	8.3施設整備		8030	別紙-7
9下水道	9.1管渠工	9.1.1開削工法	9011	別紙-7
		9.1.2推進工法	9012	5022参照
		9.1.3シールド工法	9013	5012参照
		9.1.4トンネル工法	9014	5011参照
	9.2ポンプ場、処理場	9.2.1土木構造物	9021	別紙-7

【別冊】小項目別評価運用基準表 目次-3

注) 各区分の 項目は使用頻度の高いと思われるものを示す。

事業分類	構造物分類	構造形式、工法分類	区分番号	備考
10土木工事に 係る電気通信 設備・機械設 備	10.1河川電気通信設備	10.1.1河川本川、河川堤防、その他	0011	別紙-8
		10.1.2樋門、樋管、揚排水機場、堰	0012	0011準用
	10.2砂防・地滑り電気通信設備	10.2.1砂防一般	0021	0011準用
	10.3ダム電気通信設備	10.3.1ダム周辺、その他	0031	0011準用
		10.3.2堤体本体、湖水	0032	0011準用
	10.4道路電気通信設備	10.4.1道路付属施設、情報BOX ジェッド、維持管理、その他	0041	0011準用
		10.4.2トンネル、電線共同溝、C AB、地ド駐車場、アンダーパ ス、地下道	0042	0011準用
		10.4.3橋梁、共同溝	0043	0011準用
	10.5公園電気通信設備	10.5.1公園一般	0051	0011準用
	10.6下水道電気・機械設備	10.6.1電気設備	0061	別紙-8
		10.6.2機械設備	0062	別紙-9

小項目別評価運用基準表(河川)

工種:河川堤防

区分:1010

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・築堤平均高さ10m以上 ・築堤土量30,000m ³ 以上	・築堤平均高さ5m以上 ・築堤土量10,000m ³ 以上、又は延長200m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・大型L型擁壁の構築 ・法勾配が1:1.5より急勾配である ・築堤護岸、道路や橋梁が混在 ・アンダーパスの存在
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強 ・既存の樋管、樋門等の撤去
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・圧密促進工法(袋詰サンドドレーン、グラベルドレーン等)
				・静的締固砂杭工法による地盤改良
				・深層混合処理工法
				・厚層盛土工法
				・中詰土と被覆土からなる二重構造の築堤
				・地盤改良長20m以上
				【特殊構造・工法】 ・水上施工による浮島、沈み島

工種:河川護岸

区分:1020

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・護岸平均高さ10m以上 ・護岸面積10,000m ² 以上 ・盛土工30,000m ³ 以上	・護岸平均高さ5m以上 ・護岸面積3,000m ² 以上又は延長200m以上 ・盛土工10,000m ³ 以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・線形R=20m以下 ・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・鋼材を使用した締切りを伴う護岸施工 ・大型連節ブロック張で複断面での施工 ・施工箇所が本支川の合流部 ・牛柵、木工沈床等の伝統工法を採用
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・台船等による水上施工 ・評価B以外において、特に困難と認められるもの	— ・耐震対策工法の採用 ・2つの支川の排水を確保しながらの施工

工種:堰・水門

区分:1030

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・現河川に3門以上設ける ・ゲート高さ10m以上	・ゲート高さ5m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・魚道の設置あり
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強 ・水中施工が伴う
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・河川の切回しが3回以上あり ・堰本体のブロック施工での二重締切り仮設あり ・マスコンで夏場での施工あり

工種:床止め・床固め

区分:1040

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・計画高水量500m ³ /s以上	・計画高水量200m ³ /s以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・本体が階段式である ・本体が緩傾斜である ・本体が石積である
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強

小項目別評価運用基準表(河川)

工種:樋門・樋管

区分:1050

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・掘削深さが10m以上 ・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・内空断面積10m ² 以上 ・掘削深さが5m以上 ・管体の長さ30m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・3連以上 ・評価B以外において、特に困難と認められるもの	— ・自動制御に係る各種センサーの配置及び連結あり
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・現堤防の開削あり ・旧樋管の基礎杭引抜き撤去あり ・柔構造樋管
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・管体に特殊材料使用(遮へい袋付きダクタイル鋳鉄管等)
				・内側に鋼板を巻き立てて函体補強
				・鋼管基礎杭(30m以上の杭施工)実施

工種:伏せ越し

区分:1070

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・掘削深さが10m以上 ・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・掘削深さが5m以上 ・口径2,000mm以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・逆サイホン構造
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・堤防の開削あり

工種:揚排水機場

区分:1080

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・ポンプ口径が2,000mm以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	—	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	—	—
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・30m以上の杭施工

工種:河川浚渫

区分:1090

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・水深5m以上 ・浚渫量20,000m ³ 以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	—	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・ヘドロ等の浚渫、仮置き、水切りの処理等あり ・橋梁下部工、護岸基礎根入れ、矢板護岸、異形ブロックの損傷を回避する必要がある
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・中継ぎポンプ利用による長距離圧送あり(3km以上)
			・浚渫口ボットを使用	—

工種:河川維持管理

区分:1100

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・盛土量5,000m ³ 以上 ・除草面積50万m ² 以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・法勾配1:1.5以上の急勾配法面での作業

小項目別評価運用基準表(海岸)

工種：海岸堤防

区分：2010

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価 A	評価 B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・波返工L=200m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	—	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・作業船を使い施工

工種：海岸護岸

区分：2020

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価 A	評価 B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・波返工L=200m以上 ・10ton以上の消波ブロックの設置
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・線形 R=20mの曲線護岸
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強

工種：突堤・離岸堤

区分：2030

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価 A	評価 B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・長さ50m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・ブロック+ケーソン構造 ・マウンドが捨石
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・ブロック堤補強で、大掛かりな取り外し、積み直しの実施

工種：養浜

区分：2040

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価 A	評価 B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・30,000m3以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	—	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	—	—

小項目別評価運用基準表(砂防・地すべり・急傾斜)

工種:砂防堰堤

区分:3010

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1. 構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・堰堤高さ15m以上	・堰堤高さ10m以上
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・工事用道路L=300m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	【特に複雑な複合施工】	【複雑な複合施工】
			・軽量盛土+擁壁工+ブロック積工+水路工	・コンクリート堰堤+側壁+法枠
			・コンクリート堰堤+垂直壁+流木止+法面対策	・コンクリート堰堤+側壁+アンカー+法枠
			・コンクリート堰堤+山留擁壁+鋼製ダム+水路	—
			・コンクリート堰堤+側壁+橋梁+アンカー+法枠	—
			【その他】	【その他】
			・重力式で堰堤軸がアーチ	・鋼製堰堤
			・アーチ式コンクリート堰堤	—
2. 技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・無人化施工技術	—
			・特殊な基礎処理が必要な場合	・ケーブルクレーン使用
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・自然石(現場発生)利用の転石張工の護岸工
			・ダブルウォール形式・SBウォール形式	・カーテン、コンソリグラウトの施工

工種:溪流保全工

区分:3020

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1. 構造物条件	①規模	対象構造物のさ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・計画高水流量500m ³ /s以上	・計画高水流量200m ³ /s以上
			・表面排水路L=200m以上	・表面排水路L=100m以上
			・最大勾配50%以上	—
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・曲率R=20m以下	—
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	【複合施工】
			—	・水路+落差工+排水ボーリング
2. 技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料	・無人化施工技術採用	—
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・自然石(現場発生)利用の転石張工の護岸工
			—	・コンクリート+吹付法枠+アンカー
			—	・本体が階段式

工種:斜面・地すべり対策

区分:3030

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1. 構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・幅50m以上かつ長さ150m以上	・幅30m以上かつ長さ100m以上
			・表面排水路L=1,000m以上	・急勾配10%以上
			・最大勾配50%以上	・集水井井深15m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・深礎工の設置(直径6m以上、深さ20m以上)	—
			・曲率R=20m以下	—
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	【複合施工】
2. 技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料	・坑壁土留を逆巻工法で施工、杭の偏心量を150mm以下に管理	—
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・ケーブルクレーンの使用
			—	・深礎工による施工
			—	—

小項目別評価運用基準表(砂防・地すべり・急傾斜)

工種:急傾斜地崩壊対策(法面工事等)

区分:3040

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1. 構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	・現場吹付法枠面積5,000m ² 以上	・現場吹付法枠面積2,000m ² 以上
			・法高が20m以上	
			・グラウンドアンカー併用法枠で 1,000m ² m以上	・アンカー工100本以上
			—	・鉄筋挿入200本以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・道路上高さ50m以上の場所での高所作業
	③その他	既設構造物の補強、撤去等 特殊な工事対象	・崩壊性法面での土砂の撤去	・勾配30°以上の急傾斜地における岩塊撤去
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設の老朽化したモルタル法面の撤去
2. 技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料 等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・制御発破(火薬)による法面岩塊撤去
				・斜面上の岩塊の人力掘削あり
				・急峻な斜面への仮設構造物の設置

工種:急傾斜地崩壊対策(擁壁工)

区分:3040

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1. 構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	・擁壁面積1,000m ² 以上かつ最大高さ10m以上	・擁壁面積500m ² 以上
				・最大高さ8m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・函渠擁壁一体構造物である
	③その他	既設構造物の補強、撤去等 特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・急峻な箇所の現道を片持式擁壁等で拡幅
2. 技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料 等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・EPS、気泡セメント、気泡ソイルセメント等による軽量盛土
				・落石監視装置設置、岩盤接着工、ロープ掛工、ロックネット工
				・仮設法面の土留めのため鉄筋挿入による地山補強

小項目別評価運用基準表(道路)

工種:山岳トンネル

区分:5011

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、施工深度の 規模	・内空平均面積80m ² 以上	・内空平均面積60m ² 以上
			・片押し掘削延長3,000m以上	
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・土被りが1D以下(坑口部除く)	・斜坑
			・超扁平大断面掘削	・立坑
			・在来トンネルに近接施工、又は眼鏡トンネルを施工	・R=70m以下の曲線施工
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・河底での施工	・既設トンネルの覆工コンクリート裏面空洞対策工
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・断層破砕帯で大量の湧水が予測され対策が困難	・小段層劣化帯の掘進にあたりFIT工法を採択
			・高い地熱、温泉、有毒ガス等がある地山で対策が困難	・地山を先行補強する長尺鋼管フォアパイリング工法、パイプルーフ工法
			・膨張性が著しい地山で変状対策が困難	・市街地や近接物との関係で火薬掘削ができなく、かつフローバーヘッドの使用も制限がある
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・活線拡幅工
				・側壁導坑、底設導坑の施工

工種:トンネル(シールド)

区分:5012

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、施工深度等 の規模	・Φ8m以上	・Φ4m以上
			・評価B以外において、特に困難と認め られるもの	・Φ2.5m未満
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・土被りが1D以下(坑口部除く)	・縦断勾配5%以上
			・最大勾配20%以上	・トンネル平面曲率半径 $R/D \leq 1.3$
			・評価B以外において、特に困難と認め られるもの	・眼鏡型・3連・矩形・拡幅等、変形断面の掘削 ・親子シールドによる掘削
	③その他	既設構造物の補強、撤去等 特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認め られるもの	・地中障害物対応型シールド掘削
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料 等	・地中接合	—
			・既設 π の拡幅(拡大)	—
			・評価B以外において、特に困難と認め られるもの	・長距離シールド施工2,000m以上
				・中折れシールド機によるカーブ施工

工種:トンネル(開削)

区分:5013

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、施工深度等 の規模	・開削深さ(基礎面から地表までの平 均高さ)30m以上	・開削深さ(基礎面から地表までの平均高さ)20m以上
			・評価B以外において、特に困難と認めら れるもの	
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・円形立坑に角度をもって到達・発 進するシールド通過部の箱抜	・線形R=500m
			・地下街及び地下駐車場	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等 特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認めら れるもの	・既設構造物の補強
2.技術特性	①工法等 工法、使用機械、使用材料 等		・既存構造物の動態観測しながらの大規模開削	・ディープウェル工法の適用
			・評価B以外において、特に困難と認めら れるもの	・仮設(ソイルセメント壁、アンカー山留、泥水固化 壁、逆巻工法、中間支持杭)
				・円形立坑の確保の為、連壁を20角形で水平多軸機に て施工
				・横断用水路を吊防護して躯体工施工
				・ダウンザホールハンマー工法等を併用した矢板施工
				・逆巻工法の採用
				・切梁施工で残置が必要な躯体施工

小項目別評価運用基準表(道路)

工種:トンネル(沈埋)

区分:5014

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・内空平均断面300m ² 以上 ・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・内空平均断面100m ² 以上 ・1ブロック長が100m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・平面曲線を有する

※工種：共同溝(シールド) は、5.道路 5.1トンネル 5.1.2シールド工法参照／工種：共同溝(開削) は、5.道路 5.1トンネル 5.1.3開削工法参照

工種:共同溝(推進)

区分:5022

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・スパン長:刃口式元押し推進工法で40m、中押し推進で400m、密閉型推進で600m以上 ・小口径推進工法である(管口径700mm以下)
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	—	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	—	—
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・カーブ推進(方向制御、姿勢制御)
				・施工困難な地盤条件(滞水性、崩壊性、砂礫地盤、岩盤等)に対応する工法
				・長距離推進工法

工種:橋梁上部(RC橋)

区分:5031

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・最大支間長50m以上 ・支保工高20m以上 ・橋脚10径間以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・R=200m未満の曲線橋 ・アーチ橋 ・斜角が75度未満 ・RC立体ラーメン橋
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・床版打換え ・増桁補強 ・支承取替工
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・上部桁補強、床版補強

工種:橋梁上部(PC橋)

区分:5032

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・床版橋最大支間長70m以上 ・ラーメン橋、アーチ橋、斜張橋、トラス橋、その他最大支間長150m以上 ・PC斜nラーメン橋最大支間長50m以上	・床版橋最大支間長50m以上 ・ラーメン橋、アーチ橋、斜張橋、トラス橋、その他最大支間長100m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・非対称エクストラード橋	・斜角が75度未満 ・変断面 ・R=200m未満の曲線橋 ・不等径間割り ・プレキャスト ・多径間連続ラーメン箱桁
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・床版打換え ・増桁補強 ・支承取替工
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・片持架設工法
				・押出架設工法
				・移動支保工架設工法
				・外ケーブルによる補強及び鋼板接着
				・河川を横断する支柱式支保工での現場施工
				・ステーキングによるポストテンション工法

小項目別評価運用基準表(道路)

工種:橋梁上部(鋼橋)

区分:5033

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・ 鈑桁橋、箱桁橋、ラーメン橋 最大支間長100m以上	・ 鈑桁橋、箱桁橋、ラーメン橋最大支間長70m以上
			・ トラス橋、アーチ橋、斜張橋 最大支間長200m以上	・ トラス橋、アーチ橋、斜張橋最大支間長100m以上
			・ 斜張橋最大支間長70m以上	・ 斜張橋最大支間長50m以上
			・ 吊橋、その他最大支間長500m以上	・ 吊橋、その他最大支間長300m以上
	②形状	対象構造物の形状、斜張橋の複雑さ	・ 斜張橋	・ 斜角が75度未満
			・ 評価B以外において、特に困難と認められるもの	・ 変断面
				・ R=200m未満の曲線橋
				・ 連続鋼箱桁、連続鋼鈑桁
				・ 鋼口ーゼ桁
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・ 片側を交通開放しながら既設橋梁の補強、補修施工	・ 鋼方杖ラーメン橋
・ 床版打換え				
・ 増桁補強				
・ 支承取替工				
・ 既設橋の歩道床版取壊し				
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・ 河川上の桁架設を井台船から直下吊りで施工	【標準架設工法以外の架設工法を採用(標準架設工は下記参照)
			・ 鋼重1,200t以上のクレーンベント+横取り工法の架設	・ 鋼桁橋、箱桁橋ートラベラークレーン工法
				・ トラス橋、アーチ橋、
				ラーメン橋ーケーブルクレーン工法
			・ 斜張橋、吊橋、その他一片持式工法	
			・ カーブ橋の送り出し架設	ー
			・ 評価B以外において、特に困難と認められるもの	・ 耐候性鋼材による桁で、外面を安定錆促進処理(ウェザークラクト)
				・ 主桁下フランジ補強工法
				・ ケーブルエレクション斜吊り工法
				・ ユニットキャリアによる桁運搬
・ 4車線化のため既設橋との一体化が必要、既設橋との間に横桁等を設置				
・ 現道を通行させながらの沓の取替				

工種:橋梁上部(床版工)(鋼橋)

区分:5034

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・ 評価B以外において、特に困難と認められるもの	・ 橋長300m以上の床版工
				・ 最大支間長50m以上の床版工
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・ 評価B以外において、特に困難と認められるもの	・ 斜角が75度未満
				・ 変断面
				・ R=200m未満の曲線橋
				・ 斜路式歩道橋
				・ 3径間連続桁
				・ PC床版
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・ 評価B以外において、特に困難と認められるもの	・ 合成版
				・ 既設床版の撤去、拡幅
				・ 既設コンクリート床版に増厚を施工(補強)

小項目別評価運用基準表(道路)

工種:橋梁下部(RC橋脚・橋台)

区分:5041

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	・フーチング上からの高さ30m以上	・フーチング上からの高さ20m以上
			・鋼管矢板80本	・杭長30m以上
			・柱長H=40mの橋脚3基以上	・3径間以上の連続ラーメン橋
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・橋脚、橋台5基以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・場所打杭Φ=1,200mm以上かつ場所打杭50本以上
				・二層のラーメン構造
				・変断面のつづみ型橋脚
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・箱式橋台	・RC橋脚、鋼製橋脚の二層式
			・鋼管セメントソイル杭等の新工法の採用	・鋼管セメントソイル杭等の新工法の採用
			・既設構造物(水路トンネル)に近接し土留工施工	・既設構造物の補強及び拡幅工事
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・旧橋上部工(PC桁)撤去
				・既設橋脚補強工事(コンクリート巻立て工、鋼板巻立て、炭素繊維巻立て)

工種:橋梁下部(鋼製橋台・橋脚)

区分:5042

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・橋脚100ton以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ		・橋脚高10m以上
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象		・橋脚高10m以上
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・大型自走式移動台車による一括架設 ・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・橋脚高10m以上
				・橋脚高10m以上
				・橋脚高10m以上

工種:橋梁下部(合成構造橋脚・橋台)

区分:5043

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	・橋脚高40m程度以上	・橋脚100ton以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・大口径深礎杭Φ5m程度以上	・橋脚高10m以上
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・橋脚高10m以上
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・鋼管コンクリート複合構造橋脚

工種:セメントコンクリート舗装

区分:5051

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・舗装面積10,000m2以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ		・縦断勾配2%以上
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象		—
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・2車線同時舗装
				・透水性コンクリート舗装
				・トンネル内の転圧コンクリート舗装

小項目別評価運用基準表(道路)

工種:アスファルト舗装

区分:5052

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・舗装面積10,000m ² 以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・縦断勾配6%以上
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	—	・交差道路数3ヶ所以上、交差点規模300m ² 以上
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	—
				・常温舗装
				・シックリフト工法
				・ロードヒーティング

工種:道路付属施設

区分:5060

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	—	—
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	—	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・供用中の4車線道路での歩道橋架設工事
				・借受台を用いた活線施工による支沓取替
				・既設横断歩道橋の高力ボルトの交換

工種:切土工

区分:5070

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・切土高平均30m以上	・切土高平均20m以上
			・切土量200,000m ³ 以上	・切土量100,000m ³ 以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・片盛り施工でW= 4 m以下かつHが2段以上
2.技術特性	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・勾配30°以上の急傾斜地における転石除去
				・火薬併用による掘削
				・法面処理工で吹付法枠+ロックボルトを施工

工種:盛土工

区分:5080

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・盛土高平均20m以上	・盛土高平均10m以上
			・盛土量150,000m ³ 以上	・盛土量50,000m ³ 以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	—	—
2.技術特性	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	—
				・EPS、気泡セメント、気泡ソイルセメント等による軽量盛土
				・移動式土壌改良機の使用

小項目別評価運用基準表(道路)

工種:斜面安定・法面工

区分:5090

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1. 構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・現場吹付法枠面積5,000m ² 以上	・現場吹付法枠面積2,000m ² 以上
			・グラウンドアンカー併用法枠で1,000m ² m以上	・法高が20m以上
			—	・アンカー工100本以上 ・鉄筋挿入200本以上
2. 技術特性	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・道路上高さ50m以上の場所での高所作業
			・崩壊性法面での土砂の撤去	・勾配30°以上の急傾斜地における岩塊撤去
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設の老朽化したモルタル法面の撤去
2. 技術特性	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・急峻な斜面への仮設構造物の設置
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・制御発破(火薬)による法面岩塊撤去
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・斜面上の岩塊の人力掘削あり

工種:カルバート工

区分:5100

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1. 構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・カルバート内空面積25m ² 以上かつ延長30m以上
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・カルバート延長100m以上
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・カルバートボックスの線形が曲線
2. 技術特性	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・現道直下で斜め丁字交差、地下道乗り入れの斜路との取り合いあり
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設横断歩道橋の撤去工事を伴う
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設横断歩道橋の撤去工事を伴う
2. 技術特性	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・パイプルーフ工法、フロンテジャッキ工法	・EPS、気泡セメント、気泡ソイルセメント等による軽量盛土
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・プレキャストアーチカルバート工
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・プレキャストアーチカルバート工

工種:擁壁工

区分:5110

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1. 構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模	・擁壁面積1,000m ² 以上かつ最大高さ10m以上	・擁壁面積500m ² 以上
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・最大高さ8m以上
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・函渠擁壁一体構造物である
2. 技術特性	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・急峻な箇所での現道を片持式擁壁等で拡幅
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・急峻な箇所での現道を片持式擁壁等で拡幅
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・急峻な箇所での現道を片持式擁壁等で拡幅
2. 技術特性	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・EPS、気泡セメント、気泡ソイルセメント等による軽量盛土
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・落石監視装置設置、岩盤接着工、ロープ掛工、ロックネット工
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・仮設法面の土留めのため鉄筋挿入による地山補強

小項目別評価運用基準表(道路)

工種:排水工

区分:5120

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・河道内埋設管Φ1,500以上 ・サイホン長さ30m以上、深さ5m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	—	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等 特殊な工事対象	—	—
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・推進工法による管渠布設

工種:電線共同溝・CAB

区分:5130

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	・延長1,000m以上	・延長300m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造、占用物件等を避けるため断面変化が3箇所以上ある

工種:情報ボックス

区分:5140

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・延長2km以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・通信管路のトンネル監査路への設置
	③その他	既設構造物の補強、撤去等 特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・橋梁部の延長が300m以上

工種:道路維持管理

区分:5160

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・除草面積20万m ² 以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	—	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等 特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・支承取替工 ・勾配30°以上の急傾斜地における転石除去
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・高剛性軽量排水管を使用
				・既設横断歩道橋の高力ボルトの交換
				・静的破砕工法による転石除去

小項目別評価運用基準表(港湾・漁港)

工種:航路泊地(浚渫揚土工)

区分:6010

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1. 構造物条件	①規模	対象構造物の水深・高さ、延長、施工(断)面積、全断面・部分断面の施工、施工深度、陸上等からの離岸距離、ケーソンの回航距離等の規模	—	—
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ(特殊ケーソン等)、法線の曲線等	・土厚が薄く、平面形状が細長い	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	—	—
2. 技術特性	①工法等	工法、使用船舶機械、使用材料	・浚渫+揚土(空気圧送) ・揚土材の改良 ・ポンプ6,000ps以上、グラブ23m3以上 ・ポンプ:中継ポンプの使用	・浚渫+揚土(パーシアンローダ) ・空気圧送による揚土工

工種:防波堤(ブロック式)

区分:6020

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1. 構造物条件	①規模	対象構造物の水深・高さ、延長、施工(断)面積、全断面、部分断面の施工、施工深度、陸上等からの離岸距離、ケーソンの回航距離等の規模	・マウンド天端－14m以深 ・ブロック質量50t以上	・マウンド天端－10m以深 ・ブロック質量30t以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ(特殊ケーソン等)、法線の曲線等	—	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強及び撤去を含む工事
2. 技術特性	①工法等	工法、使用船舶機械、使用材料	・マウンドの機械均し	—

工種:防波堤(ケーソン式)

区分:6020

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1. 構造物条件	①規模	対象構造物の水深・高さ、延長、施工(断)面積、全断面、部分断面の施工、施工深度、陸上等からの離岸距離、ケーソンの回航距離等の規模	・マウンド天端－14m以深 ・2,000t以上のケーソン ・ケーソンの回航が航路外用据付ブロック	・マウンド天端－10m以深 ・1,000t以上のケーソン据付 ・ケーソンの回航が1回以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ(特殊ケーソン等)、法線の曲線等	・特殊ケーソンの据付	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強及び撤去を含む工事
2. 技術特性	①工法等	工法、使用船舶機械、使用材料	・マウンドの機械均し	—

小項目別評価運用基準表(港湾・漁港)

工種:岸壁(杭式栈橋式を除く)

区分:6050

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の水深、高さ、延長、施工(断)面積、全断面、部分断面の施工、施工深度、陸上等からの離岸距離、ケーソンの回航距離等の規模	・2,000t以上のケーソン据付 ・対象構造物の水深－14m以上 ・ケーソンの回航が航路外航用ブ ロックを超える	・1,000t以上のケーソン据付 ・対象構造物の水深－10m以上 ・ケーソンの回航が1日以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ(特殊ケーソン等)、法線の曲線等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・鋼管矢板式
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強及び撤去を含む工事
2.技術特性	①工法等	工法、使用船舶機械、使用材料	・工法:ジェット併用、先行掘削 ・船舶:D80クラス杭打船	・船舶:D60クラス杭打船 ・材料:鋼管矢板

工種:岸壁(杭式栈橋式)

区分:6050

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の水深、高さ、延長、施工(断)面積、全断面、部分断面の施工、施工深度、陸上等からの離岸距離、ケーソンの回航距離等の規模	・対象構造物の水深－14m以上	・対象構造物の水深－10m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ(特殊ケーソン等)、法線の曲線等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・斜杭
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強及び撤去を含む工事
2.技術特性	①工法等	工法、使用船舶機械、使用材料	・工法:ジェット併用、先行掘削 ・船舶:D80クラス杭打船	・船舶:D60クラス杭打船

工種:基礎工事

区分:6060

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の水深、高さ、延長、施工(断)面積、全断面、部分断面の施工、施工深度、陸上等からの離岸距離、ケーソンの回航距離等の規模	・マウンド天端－14m以深	・マウンド天端－10m以深
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ(特殊ケーソン等)、法線の曲線等	—	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強及び撤去を含む工事
2.技術特性	①工法等	工法、使用船舶機械、使用材料	・マウンドの機械均し	—

小項目別評価運用基準表(港湾・漁港)

工種:地盤改良:SCF・深層混合処理等

区分:6060

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の水深、高さ、延長、施工(断)面積、全段面、部分断面の施工、施工深度、陸上等からの離岸距離、ケーソンの回航距離等の規模	・改良長さ30m以上	・改良長さ20m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ(特殊ケーソン等)、法線の曲線等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・改良率が変化
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強を含む工事
2.技術特性	①工法等	工法、使用船舶機械、使用材料	・深層混合処理(海上)	・深層混合処理(陸上)

工種：ブロック類製作

区分:6060

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の水深、高さ、延長、施工(断)面積、全段面、部分断面の施工、施工深度、陸上等からの離岸距離、ケーソンの回航距離等の規模	・ブロック質量50t以上	・ブロック質量30t以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ(特殊ケーソン等)、法線の曲線等	—	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	—	—

工種:ケーソン製作

区分:6060

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の水深、高さ、延長、施工(断)面積、全段面、部分断面の施工、施工深度、陸上等からの離岸距離、ケーソンの回航距離等の規模	・ケーソン質量2,000t以上	・ケーソン質量1,000t以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ(特殊ケーソン等)、法線の曲線等	・曲面スリットケーソン、半円形ケーソン、ブロック内蔵型スリットケーソン、ハイブリットケーソン	・スリットケーソン、異形ケーソン
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	—	—
2.技術特性	①工法等	工法、使用船舶機械、使用材料	・海上打継ぎ(浮遊式)	・ケーソン製作用台船方式 ・海上打継ぎ(着底式)

小項目別評価運用基準表(空港)

工種:基本施設舗装(空港土工)

区分:7010

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の水深、高さ、延長、施工(断)面積、全断面、部分断面の施工、施工深度、陸上等からの離岸距離、ケーソンの回航距離等の規模	・切土高、盛土高 30m以上 ・切土量50,000m3以上、盛土量150,000m3以上 ・現場吹付法砕面積1,000m2以上 ・擁壁面積1,000m2以上	・切土高、盛土高 平均20m以上 ・切土量10,000m3以上、盛土量50,000m3以上 ・法高が20m以上 ・アンカー工100本以上 ・鉄筋挿入200本以上 ・現場吹付法砕面積500m2以上 ・擁壁面積500m2以上 ・最大高さ10m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ(特殊ケーソン等)、法線の曲線等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・高さ50m以上の場所での高所作業 ・土被りが基準を満たしていない盛土工
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	・崩壊性法面での土砂の撤去	・勾配30°以上の急傾斜地における転石除去 ・岩盤接着が必要となる工事
2.技術特性	①工法等	工法、使用船舶機械、使用材料	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・大型掘削機械使用及び火薬併用による掘削 ・移動式土壌改良機の使用 ・制御発破(火薬)による法面岩塊撤去 ・斜面土の岩塊の人力掘削

工種:基本施設舗装(空港舗装工)

区分:7010

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の水深、高さ、延長、施工(断)面積、全断面、部分断面の施工、施工深度、陸上等からの離岸距離、ケーソンの回航距離等の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・アスファルト舗装:舗装面積が15,000m2以上 ・コンクリート舗装:舗装面積が10,000m2以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ(特殊ケーソン等)、法線の曲線等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・高速脱出誘導路等 ・フィレット拡幅工 ・アスファルト舗装とコンクリート舗装の接合部
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	—	—
2.技術特性	①工法等	工法、使用船舶機械、使用材料	・プレストレストコンクリート舗装及びリフトアップ工法	・各種特殊舗装工法(コンクリート薄層舗装・鋼繊維補強コンクリート舗装・シックリフト工法・PCプレキャスト版舗装)・サンドイッチ構造舗装

工種:その他(排水工)

区分:7030

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の水深、高さ、延長、施工(断)面積、全断面、部分断面の施工、施工深度、陸上等からの離岸距離、ケーソンの回航距離等の規模	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・カルバート内空面積25m2以上、かつ、延長20m以上 ・カルバート延長100m以上 ・河道内埋設管Φ1,500以上 ・サイホン長さ30m以上、深さが5m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ(特殊ケーソン等)、法線の曲線等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・カルバートボックスの線形が曲線
	③その他	既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	—	—
2.技術特性	①工法等	工法、使用船舶機械、使用材料	・ハイルーフ工法、フロンテジャッキ工法	・EPS、気泡セメント、気泡ソイルセメント等による軽量盛土 ・プレキャストアーチカルバート工

小項目別評価運用基準表(公園)

工種:基盤整備 区分:8010

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	—	—
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	—	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等 特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・石造りアーチ橋の移設

工種:施設整備 区分:8030

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	—	—
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・全延長50mの間で勾配の変化点が7箇所ある人工ゲレンデの設置 ・自然の渓谷を再現
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・人工生態礁(イカダ状植生浮島) ・流域産の自然石、間伐材を使用し、景観に配慮した施工 ・針葉樹の皮を混合した木質系常温舗装の採用 ・擬岩パネル工法

小項目別評価運用基準表(下水)

工種:管渠(開削工法) 区分:9011

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	・掘削深さが10m以上	・掘削深さが5m以上
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・サイホン長さ30m以上、深さ5m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・ゲート、排水ポンプ等の設置
	③その他	既設構造物の補強、撤去等 特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・現堤防の開削
				・転石、岩盤の存在

工種:ポンプ場・処理場(土木構造物) 区分:9021

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造物条件	①規模	対象構造物の高さ、延長、 施工(断)面積、 施工深度等 の規模	・掘削深さが10m以上	・構造物の長さ、幅が10m以上
				・掘削深さが5m以上
	②形状	対象構造物の形状の複雑さ	—	—
	③その他	既設構造物の補強、撤去等 特殊な工事対象	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設構造物の補強
				・30m以上の杭施工の実施
2.技術特性	①工法等	工法、使用機械、使用材料等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	

小項目別評価運用基準表(土木工事に係る電気通信設備工事)

工種:電気設備・通信設備・受変電設備

区分:0011

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1. 構造物条件 (設備技術特性)	①規模	主な設備の規模(照明灯数、線路亘長、設備容量等)	・道路照明:灯数50灯以上	・20≦灯数<50灯
			・トンネル:延長500m以上	・75≦延長<500m
			・配電線路=亘長1,000m以上	・500≦亘長<1,000m
			・共同溝:延長500m以上	・200m≦延長<500m
			・地下駐:床面積1,000m2以上	・500≦床面積<1,000m2
			・水処理:容量300kVA以上	・100≦容量<300kVA
			・道路ヒーティング:容量100kVA以上	・50≦容量<100kVA
			・鉄塔:高さ50m以上	・30≦高さ<50m
			・反射板:面積50m2以上	・30≦面積<50m2
			・光ケーブル:接続10箇所以上	・1箇所≦接続<10箇所
			・CCTV :画像処理系及び伝送系を含む	・伝送系を含む
			・高圧受変電:容量1,000kW以上含む	・500≦容量<1,000kW
			・特高圧変電:容量5,000kW以上	・3,000≦容量<5,000kW
			・発電:容量500kW以上	・100≦容量<500kW
		既設設備の改造・転用、特殊な対象設備等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設設備を運用しながら一部の機器を更新
	②形状	主な設備の種別(低圧設備、高圧設備等)	・高圧配電、昇圧設備あり	・低圧配電、電源補償設備あり
			・衛星通信設備(可搬型を除く。)	・多重通信設備、ヘリ画像受信設備、K-COSMOS
			・各種情報通信(処理)設備(データ送受信機能あり)	—
			・シェインダー鉄塔	・パイプトラス鉄塔
			・特別高圧設備	・高圧設備
2. 技術特性 (設備技術特性)	①工法等	省エネ仕様、監視制御仕様、耐震仕様、リサイクルへの配慮等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・監視制御設備による制御

工種:電気設備 (下水道)

区分:0061

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1. 構造物条件 (設備条件)	①規模	主な設備の種別 ①-1)電力設備、受変電設備、負荷設備、制御・計装用電源	・当初より500kw以上の高圧受電(将来は1,000kw以上又は特別高圧受電)変圧器 2バンク以上	・50kw～500kwの高圧受電(自家発電設備をもつ)
			・モールド又はガス絶縁変圧器	・モールド変圧器
		主な設備の種別 ①-2)計装設備、監視制御システム	・高圧動力負荷(6kv)	・低圧動力負(400v)
			・二重母線又はループ母線	・単母線又は区分式単母線
			・二次抵抗制御又は静止セルビウス制御等の速度制御設備	・VVVF制御での速度制御
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・高調波対策あり
				・交流無停電電源装置
				・光信号方式
				・システムが二重化されていて、CRTディスプレイ、投影式スクリーン、グラフィックパネル等が具備されている
			・集中監視分散制御方式等	・集中監視集中制御方式
		主な設備の種別 ①-3)自家発電設備	・ガスタービン方式500KVA以上(当初500KVA以下でも将来は2台以上で500KVA以上>)	・ディーゼル式又はガスタービン方式500KVA以下
	②形状	主な設備の規模(処理場、ポンプ場等)	・水処理施設:日最大汚水量:8,000m3/日以上(標準法に限る)の電気設備	・水処理施設:日最大汚水量8,000m3/日未満の電気設備
			・ポンプ場:時間最大汚水量15,000cm3/日以上(標準法に限る)の電気設備	・ポンプ場:時間最大汚水量15,000cm3/日未満の電気設備
	③その他	既設設備の改造・転用、特殊な対象設備等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設設備を運用しながら一部の機器を更新
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・停電作業が伴う
2. 技術特性 (設備技術特性)	①工法等	省エネ仕様、監視制御仕様、耐震仕様、リサイクルへの配慮等	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・監視制御設備による制御

小項目別評価運用基準表(機械設備)

工種:機械設備

区分:0062

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	具 体 的 事 例	
			評価A	評価B
1.構造条件(設備技術特性)	①規模	主な設備の種別 ①ー1)水処理設備、沈殿池設備、反応槽設備、送風機設備、消毒設備、処理水再利用設備	・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・標準活性汚泥法
			・2階層式以上の沈殿池	—
			・全面曝気式、機械攪拌式	・旋回流式(標準法)
			・ターボ型送風機150m ³ /分以上(150m ³ /分以下でも高圧モータ)	・ターボ型送風機50～150m ³ /分(ただし低圧モータ)
			・紫外線又はオゾン消毒設備	・次亜塩素酸ナトリウム消毒設備
			・処理水再利用設備がある(1,000m ³ /日規模以上)	・処理水再利用設備がある(1,000m ³ /日規模未満)
		主な設備の種別 ①ー2)汚泥処理設備、濃縮設備、脱水設備、焼却溶融設備、コンポスト設備	・機械濃縮設備と重力濃縮設備の両方がある	・重力:濃縮設備のみ ・脱水機は間欠運転(7時間程度)
			・機械濃縮機脱水機は24時間対応	・コンポスト設備
			・焼却溶融設備	
		主な設備の種別 ①ー3)ポンプ場設備(汚水)、沈砂池設備、スクリーン設備、ポンプ設備	・バケットコンベア式沈砂掻揚機	・揚砂ポンプ式
			・防塵設備、し漬脱水設備	・防塵設備、破砕機
			・軸流ポンプ、斜流ポンプ	・斜流ポンプ、渦巻ポンプ
	②形状	主な設備の規模 ②ー1)水処理設備	・全体計画における日最大汚水量50,000m ³ /日以上で、処理方式が標準活性汚泥法	・全体計画における日最大汚水量50,000 m ³ /日未満
			・増設、更新時の日最大汚水量8,000m ³ /日以上	・増設、更新時の日最大汚水量8,000m ³ / 日未満
		主な設備の規模 ②ー2)汚泥処理設備	・全体計画における処理汚泥量脱水ケーキ量換算50t/日以上	・全体計画における処理汚泥量脱水ケーキ 量換算50t/日未満
			・増設、更新時の処理汚泥量脱水ケーキ量換算20t/日以上	・増設、更新時の処理汚泥量脱水ケーキ量換算20t/日未満
		主な設備の規模 ②ー3)ポンプ場設備(汚水)	・全体計画における時間最大汚水量20,000m ³ /日以上	・全体計画における時間最大汚水量20,000m ³ /日未満
			・増設、更新時の時間最大汚水量は10,000m ³ /日以上	・増設、更新時の時間最大汚水量は10,000m ³ /日未満
	③その他	既設設備の改造・転用、特殊な対象設備等	・ポンプの出力75KW以上	・ポンプの電動出力55KW以下
			・評価B以外において、特に困難と認められるもの	・既設設備を運用しながら一部の機器を更新 ・機器停止作業が伴う